学校番号	３０１８

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	漆芸	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	担当者作成のプリント・漆芸に関する書籍						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

漆芸の技法として、下地や塗りなどの「きゅう漆技法」と蒔絵などの「加飾技法」を講義と実習を通じて学びます。その中で、漆素材の特性を理解し、制作の手順を身につけ、漆芸に関する知識を深めていきます。また、刷毛や筆などの道具の正しい扱い方を身につけます。

2　学習の到達目標

漆芸の下地工程や塗り工程を学ぶなかで､漆素材の特性を理解し､基礎的な表現技法を身につける。
蒔絵や螺鈿などの加飾技法を学び、漆芸による表現をより幅広く身につける。
道具や用具の正しい扱い方を学び、身につける。
漆工芸の歴史、伝統と文化について考え、作品を鑑賞する力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・漆芸に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。 ・合理的なものづくりを計画し、学んだ知識・技術を適切に活用している。	・作品の構想を練り、完成までの過程に起こる諸課題に対して、思考を深め適切な判断で創造的表現をしている。	・漆芸の課題について関心を持ち、自ら取り組もうとする実践的な態度を身につけている。 ・他者の作品や漆工芸について着目し、主体的に作品鑑賞をしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	きゅう漆技法実習	・植物のスケッチ ・蒔絵図案の作成 ・下地工程 ・下地研ぎ工程 ・塗り工程 ・塗り研ぎ工程 ・鑑賞	a:①漆芸に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ②合理的なものづくりを計画し、学んだ知識・技術を適切に活用している b: 作品の構想を練り、完成までの過程に起こる諸課題に対して、思考を深め適切な判断で創造的に表現している。 c: ①漆芸の課題について関心を持ち、自ら取り組もうとする実践的な態度を身に付けている。 ②他者の作品や漆工芸について着目し、主体的に作品鑑賞をしている。	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 鑑賞 レポート
2学期	研出蒔絵技法実習	・置き目 ・地塗り ・銀粉蒔き ・固め ・塗り込み ・研ぎ出し ・呂色上げ ・鑑賞	a:①漆芸に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ②合理的なものづくりを計画し、学んだ知識・技術を適切に活用している b: 作品の構想を練り、完成までの過程に起こる諸課題に対して、思考を深め適切な判断で創造的に表現している。 c: ①漆芸の課題について関心を持ち、自ら取り組もうとする実践的な態度を身に付けている。 ②他者の作品や漆工芸について着目し、主体的に作品鑑賞をしている。	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 鑑賞 レポート

3 学 期	螺鈿技法実習	・アイデアスケッチ ・素地づくり ・図案転写 ・貝カット ・地塗り ・貝貼り ・固め ・塗り込み ・研ぎ出し ・呂色上げ ・鑑賞	a:①漆芸に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ②合理的なものづくりを計画し、学んだ知識・技術を適切に活用している b: 作品の構想を練り、完成までの過程に起こる諸課題に対して、思考を深め適切な判断で創造的に表現している。 c: ①漆芸の課題について関心を持ち、自ら取り組もうとする実践的な態度を身に付けている。 ②他者の作品や漆工芸について着目し、主体的に作品鑑賞をしている。	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 鑑賞 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度